

貸借対照表  
(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>417,867</b>	<b>流動負債</b>	<b>178,194</b>
現金及び預金	212,104	未払金	156,490
売掛金	177,490	未払費用	3,283
仕掛品	908	賞与引当金	1,063
貯蔵品	15,854	預り金	537
前払費用	10,305	未払法人税等	2,290
仮払金	1,196	未払消費税	3,144
その他	7	前受収益	11,385
<b>固定資産</b>	<b>38,706</b>	<b>固定負債</b>	<b>700,000</b>
有形固定資産	—	長期借入金	700,000
無形固定資産	<b>37,702</b>	<b>負債合計</b>	<b>878,194</b>
ソフトウェア	21,538	<b>純 資 産 の 部</b>	
ソフトウェア仮勘定	16,164	<b>株主資本</b>	<b>△421,619</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,003</b>	<b>資本金</b>	<b>100,000</b>
長期前払費用	1,003	<b>資本剰余金</b>	<b>1,161,159</b>
		資本準備金	980,000
		その他資本剰余金	181,159
		<b>利益剰余金</b>	<b>△1,682,779</b>
		その他利益剰余金	△1,682,779
		繰越利益剰余金	△1,682,779
		<b>純資産合計</b>	<b>△421,619</b>
<b>資産合計</b>	<b>456,574</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>456,574</b>

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- 仕掛品： 個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。
- 貯蔵品： 最終仕入原価法を採用しております。

#### 2 固定資産の減価償却の方法

- (1)有形固定資産： 定額法を採用しております。  
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。  
・工具、器具及び備品：2年
- (2)無形固定資産： 定額法を採用しております。  
なお、自社利用のソフトウェアについては、将来の利用可能期間を見積もり、当社が合理的と判断した以下の耐用年数による定額法を採用しております。  
・ウェブを利用したサービス提供に係るもの：2年  
・商標権：10年

#### 3 引当金の計上基準

- (1)賞与引当金： 従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。
- (2)貸倒引当金： 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

#### 4 その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法は、税抜方式によっております。

## 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

- 1 発行済株式の総数  
普通株式 1,960 株
- 2 当事業年度の末日における自己株式の数  
該当事項はありません。
- 3 剰余金の配当に関する事項
  - (1)配当金支払額  
該当事項はありません。
  - (2)基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの  
該当事項はありません。
- 4 新株予約権に関する事項  
該当事項はありません。